

SPA122のVPNパススルー設定の設定

目的

VPNパススルー機能は、通常、IPSecトンネルを個別に設定する必要があるATA (アナログ電話アダプタ) の背後にデバイスがある場合に使用されます。このページでは、Internet Protocol Security(IPSec)、Point-to-Point Tunneling Protocol(PPTP)、およびLayer 2 Tunneling Protocol(L2TP)がデバイスのファイアウォールを通過できるようにします。

この記事の目的は、SPA122 VoIPデバイスのVPNパススルー設定を設定することです。

該当するデバイス

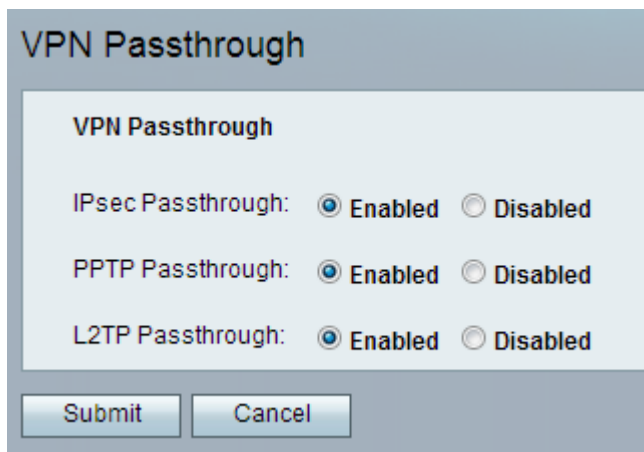
- ・ SPA122

[Software Version]

- ・ v1.1.0

VPNパススルーの設定

ステップ1:Web設定ユーティリティにログインし、[Network Setup] > [Advanced Settings] > [VPN Passthrough]を選択します。[VPN Passthrough]ページが開きます。



VPN Passthrough

VPN Passthrough

IPsec Passthrough: Enabled Disabled

PPTP Passthrough: Enabled Disabled

L2TP Passthrough: Enabled Disabled

Submit Cancel

ステップ2:Internet Protocol Security(IPSec)は、認証と暗号化を通じて安全なIP通信を提供します。IPSecトンネルがATAを通過できるようにするには、IPSecパススルーがデフォルトで有効になっています。IPSecパススルーを無効にするには、[無効]ラジオボタンをクリックします。

VPN Passthrough

VPN Passthrough

IPsec Passthrough: Enabled Disabled

PPTP Passthrough: Enabled Disabled

L2TP Passthrough: Enabled Disabled

Submit Cancel

ステップ3: *Point-to-Point Tunneling Protocol*(PPTP)は、IPネットワークを介してVPNセッションを有効にするために使用する方法です。PPTPトンネルがATAを通過できるようにするには、PPTPパススルーがデフォルトで有効になっています。PPTPパススルーを無効にするには、[無効]ラジオボタンをクリックします。

VPN Passthrough

VPN Passthrough

IPsec Passthrough: Enabled Disabled

PPTP Passthrough: Enabled Disabled

L2TP Passthrough: Enabled Disabled

Submit Cancel

ステップ4: *レイヤ2トンネリングプロトコル*(L2TP)は、バーチャルプライベートネットワーク(VPN)をサポートするために使用されるトンネリングプロトコルです。それ自体は暗号化も機密保持も提供しません。プライバシーを提供するためにトンネル内で渡される暗号化プロトコルに依存します。L2TPトンネルがATAを通過できるようにするには、デフォルトでL2TPパススルーが有効になっています。L2TPパススルーを無効にするには、[無効]ラジオボタンをクリックします。

VPN Passthrough

VPN Passthrough

IPsec Passthrough: Enabled Disabled

PPTP Passthrough: Enabled Disabled

L2TP Passthrough: Enabled Disabled

Submit Cancel

ステップ5 : [Submit] をクリックします。変更が保存され、デバイスが更新されます。

注 : 管理者がパススルーを無効にすると、VPNクライアントがネットワークに接続できなくなります。